2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名　株式会社フジオフードグループ本社　　上場取引所　東
コード番号　2752　URL https://fujiogroup.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤尾　政弘
問合せ先責任者　(役職名) 財務部長　(氏名) 幾野　光宏　TEL 06-6360-0306

四半期報告書提出予定日　2023年5月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	7,449	24.1	△19	―	△76	―	△94	―
2022年12月期第1四半期	6,004	△7.6	△721	―	△318	―	△423	―

(注) 包括利益　2023年12月期第1四半期　△120百万円　(―%)　2022年12月期第1四半期　△408百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	△2.14	―
2022年12月期第1四半期	△9.65	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	21,693	1,569	7.2	34.46
2022年12月期	21,529	580	2.6	12.89

(参考) 自己資本　2023年12月期第1四半期　1,552百万円　2022年12月期　569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2023年12月期	―				
2023年12月期(予想)		―	―	―	―

(注) 2023年12月期の配当につきましては、未定とさせていただいております。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年 1月 1日～2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,928	18.7	110	―	88	―	△121	―	△2.76
通期	30,817	16.2	642	―	623	―	10	―	0.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、添付資料P．8「2．四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料P．8「2．四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期1Q	45,037,860 株	2022年12月期	44,837,860 株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	74 株	2022年12月期	703,474 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期1Q	44,294,990 株	2022年12月期1Q	43,937,253 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P．3「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（会計方針の変更） …… 8
（四半期連結損益計算書関係） …… 8
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替市場の円安進行やロシア・ウクライナ情勢の長期化による原材料や資源価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され客数は回復基調を見せつつありますが、原材料等の各種コストの高騰や慢性的な人手不足等によって、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、既存事業の全体的な底上げを行うための商品開発、業態ごとの販売促進キャンペーン活動、店舗におけるサービス力向上を図るための教育・研修体制の強化等を行い、「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂　串家物語」を中心とした全業態の経営成績の向上に全社一丸となって取り組みました。人々の生活様式の変化への対応においても、モバイルオーダー対応店舗の拡大や、お客様のニーズに合わせた商品開発を行う等、新規顧客の取り込みに注力してまいりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の経営成績は、売上高74億49百万円（前年同期比24.1％増）、営業損失19百万円（前年同期は営業損失７億21百万円）、経常損失76百万円（前年同期は経常損失３億18百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失94百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失４億23百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

＜直営事業＞

直営事業におきましては、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂　串家物語」、「手作り居酒屋　かっぽうぎ」、「麺乃庄　つるまる」等の事業展開を行っております。

当事業では、時間帯別売上分析による適切なシフトコントロールによってコスト削減を行うとともに、販売実績のＡＢＣ分析から顧客ニーズを図りターゲットを狙った商品開発、季節フェアキャンペーンの推進、ＳＮＳやメディアを活用したブランド認知度の向上、既存店舗の美装改装等による集客力向上施策を実施し、全ブランドの既存店の業績改善に努めてまいりました。

以上の結果、直営事業全体の売上高は70億80百万円（前年同期比25.4％増）、セグメント利益は３億75百万円（前年同期はセグメント損失２億41百万円）となりました。

＜ＦＣ事業＞

ＦＣ事業につきましては、加盟企業及び社員独立による営業委託者とのコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、さらなる集客・売上の向上を目指しております。

主な活動といたしましては、フランチャイズ加盟開発の強化、現環境に適した業態への変更の提案等を行ってまいりました。

以上の結果、ＦＣ事業全体の売上高は３億68百万円（前年同期比2.5％増）、セグメント利益は２億43百万円（前年同期比14.1％増）となりました。

当社グループの2023年３月末時点の店舗数は771店舗（直営店（国内）450店舗、直営店（海外）４店舗、委託店（国内）61店舗、ＦＣ店（国内）241店舗、ＦＣ店（海外）15店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店（国内）	直営店（海外）	委託店（国内）	ＦＣ店（国内）	ＦＣ店（海外）	合計
まいどおおきに食堂	86	2	23	178	7	296
神楽食堂　串家物語	78	－	2	24	4	108
手作り居酒屋　かっぽうぎ	12	－	2	1	－	15
麺乃庄　つるまる	21	－	14	7	2	44
その他	253	2	20	31	2	308
合計	450	4	61	241	15	771

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は１億63百万円増加し、216億93百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から４億53百万円増加し、固定資産は２億89百万円減少しております。流動資産が増加した主な理由は、現金及び預金の増加３億95百万円、未収入金の増加１億76百万円によるものであります。固定資産が減少した主な理由は有形固定資産の減少82百万円、敷金及び保証金の減少１億79百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して８億25百万円減少し、201億23百万円となりました。これは主に借入金の返済による減少６億20百万円、未払消費税等の減少１億26百万円によるものであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分等により、前連結会計年度末と比較して９億89百万円増加し、15億69百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年２月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2022年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2023年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,766	6,162
売掛金	539	521
棚卸資産	189	157
前払費用	271	276
未収入金	99	275
預け金	1,209	1,087
その他	468	516
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	8,542	8,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,780	16,724
減価償却累計額	△8,772	△8,853
減損損失累計額	△2,936	△2,879
建物及び構築物（純額）	5,071	4,992
工具、器具及び備品	5,593	5,580
減価償却累計額	△4,878	△4,878
減損損失累計額	△465	△469
工具、器具及び備品（純額）	249	232
土地	859	859
建設仮勘定	15	31
その他	376	375
減価償却累計額	△366	△367
その他（純額）	10	8
有形固定資産合計	6,206	6,123
無形固定資産		
のれん	1,464	1,440
その他	49	45
無形固定資産合計	1,514	1,486
投資その他の資産		
投資有価証券	410	387
関係会社株式	148	142
繰延税金資産	13	13
敷金及び保証金	3,758	3,578
その他	1,143	1,188
貸倒引当金	△207	△224
投資その他の資産合計	5,265	5,086
固定資産合計	12,986	12,696
資産合計	21,529	21,693

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2022年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2023年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,316	1,415
短期借入金	3,655	3,655
１年内返済予定の長期借入金	2,030	1,881
未払金	1,299	1,340
未払費用	591	508
未払法人税等	63	26
未払消費税等	340	213
株主優待引当金	249	222
資産除去債務	14	67
その他	341	346
流動負債合計	9,901	9,676
固定負債		
長期借入金	8,687	8,216
リース債務	10	7
資産除去債務	1,199	1,148
預り保証金	247	247
長期未払金	100	100
繰延税金負債	145	145
持分法適用に伴う負債	558	500
債務保証損失引当金	91	75
その他	6	6
固定負債合計	11,047	10,446
負債合計	20,948	20,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,297	2,424
資本剰余金	2,592	3,129
利益剰余金	△3,910	△4,005
自己株式	△439	△0
株主資本合計	540	1,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23	△46
為替換算調整勘定	52	49
その他の包括利益累計額合計	28	2
新株予約権	11	17
純資産合計	580	1,569
負債純資産合計	21,529	21,693

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2022年１月１日 至　2022年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2023年１月１日 至　2023年３月31日）
売上高	6,004	7,449
売上原価	2,198	2,684
売上総利益	3,805	4,764
販売費及び一般管理費	4,527	4,783
営業損失（△）	△721	△19
営業外収益		
受取利息	0	0
賃貸収入	2	1
持分法による投資利益	－	5
雇用調整助成金	68	0
助成金収入	361	－
その他	9	7
営業外収益合計	443	14
営業外費用		
支払利息	31	21
賃貸収入原価	2	0
持分法による投資損失	4	－
支払手数料	－	47
その他	1	1
営業外費用合計	39	72
経常損失（△）	△318	△76
特別利益		
投資有価証券売却益	0	－
固定資産売却益	－	0
受取立退料	－	35
固定資産受贈益	－	19
持分変動利益	－	53
債務保証損失引当金戻入額	－	16
特別利益合計	0	124
特別損失		
店舗解約損	7	68
固定資産除却損	25	0
減損損失	14	22
貸倒引当金繰入額	4	20
特別損失合計	51	110
税金等調整前四半期純損失（△）	△369	△62
法人税等	54	32
四半期純損失（△）	△423	△94
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△423	△94

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2022年１月１日 至　2022年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2023年１月１日 至　2023年３月31日）
四半期純損失（△）	△423	△94
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△22
為替換算調整勘定	10	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△6
その他の包括利益合計	15	△25
四半期包括利益	△408	△120
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△408	△120

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年３月16日付で、藤尾政弘氏及び株式会社ダスキンからの第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第１四半期連結累計期間において資本金が127百万円、資本準備金が127百万円増加し、資本金が2,424百万円、資本準備金が2,304百万円となっております。

また、2023年２月28日開催の取締役会の決議に基づき、2023年３月16日付で自己株式703,400株の処分を行い、自己株式が439百万円減少し、その他資本剰余金が409百万円増加しております。

この結果、当第１四半期連結会計期間末において、その他資本剰余金は825百万円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号　2021年６月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第１四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-２項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（四半期連結損益計算書関係）

助成金収入

新型コロナウイルス感染症に伴う政府及び自治体からの特例措置の適用を受けたものであります。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2022年１月１日　至　2022年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	直営事業	ＦＣ事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	1,116	－	1,116	－	1,116
神楽食堂　串家物語	1,558	－	1,558	－	1,558
手作り居酒屋　かっぽうぎ	106	－	106	－	106
麺乃庄　つるまる	201	－	201	－	201
その他	2,662	－	2,662	－	2,662
ＦＣ加盟金売上	－	39	39	－	39
ＦＣロイヤリティ売上	－	127	127	－	127
ＦＣイニシャル売上	－	37	37	－	37
ＦＣランニング売上	－	155	155	－	155
顧客との契約から生じる収益	5,645	359	6,004	－	6,004
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	5,645	359	6,004	－	6,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	5,645	359	6,004	－	6,004
セグメント利益又は損失（△）	△241	213	△27	△693	△721

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△693百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第１四半期連結累計期間において、直営事業について閉店の意思決定による14百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2023年１月１日　至　2023年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	直営事業	ＦＣ事業	計		
売上高					
まいどおおきに食堂	1,213	－	1,213	－	1,213
神楽食堂　串家物語	2,045	－	2,045	－	2,045
手作り居酒屋　かっぽうぎ	147	－	147	－	147
麺乃庄　つるまる	240	－	240	－	240
その他	3,433	－	3,433	－	3,433
ＦＣ加盟金売上	－	45	45	－	45
ＦＣロイヤリティ売上	－	153	153	－	153
ＦＣイニシャル売上	－	17	17	－	17
ＦＣランニング売上	－	151	151	－	151
顧客との契約から生じる収益	7,080	368	7,449	－	7,449
その他の収益	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	7,080	368	7,449	－	7,449
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	7,080	368	7,449	－	7,449
セグメント利益又は損失（△）	375	243	618	△638	△19

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△638百万円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第１四半期連結累計期間において、直営事業について閉店の意思決定による22百万円の減損損失を計上しております。